

【一般会計決算状況】

区分	令和6年度	令和5年度	差引額	増減率
歳入(収入)総額	93億2,686万円	90億8,861万円	2億3,825万円	2.6%
歳出(支出)総額	89億1,703万円	87億9,852万円	1億1,851万円	1.3%
歳入歳出差引額 ①	4億983万円	2億9,009万円	1億1,974万円	41.3%
翌年度への繰越財源 ②	2億3,172万円	8,504万円	1億4,668万円	172.5%
実質収支 ①-②	1億7,811万円	2億505万円	▲2,694万円	▲13.1%

【特別会計決算状況】一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	16億3,254万円	15億8,714万円	4,540万円
学校給食特別会計	6,328万円	6,328万円	0万円
介護保険特別会計	17億1,030万円	17億1,030万円	0万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,183万円	2億6,727万円	456万円
水道事業会計	2億2,590万円	1億8,142万円	4,448万円
病院事業特別会計	16億6,799万円	17億2,516万円	▲1億745万円
農業集落排水事業会計	3,376万円	3,548万円	▲172万円

(水道事業会計・病院事業特別会計・農業集落排水事業会計は収益的収支を記載)

◆健全な財政状況

実質収支は黒字であり、健全化判断比率の全ての指標が健全化への取り組みが必要な基準(早期健全化基準、経営健全化基準)を大幅に下回っているため、健全な財政状況を維持しています。実質公債費比率が高いと町財政に対する借金の負担が多いということになりますが、令和5年度より1.5ポイント上昇したものの、10年間で8.6%から6.9%へと改善しています。今後も、公共施設の更新・改修や高知県管理型産業廃棄物最終処分場建設に伴う地域振興策等に係る事業の財源として町債を借り入れる予定ですが、町債の償還金の一部が地方交付税として国から交付される有利なものを活用する等、一時的に償還額が増加するものの今後の償還金が町の財政に大きく影響を与えることはないと思っております。

また、基金は財政運営を計画的に行ったり、特定の目的のために積立や取崩を行ったりするもので、令和6年度は今後の施設整備・改修に備えて、施設等整備基金へ約1億円を積み立てました。今後も健全な財政運営を行っていくため、適正な基金残高の維持に努めます。

【基金(貯金)残高】

会計名	令和6年度	令和5年度	差引額	増減率
一般会計	66億7,622万円	64億4,446万円	2億3,176万円	3.6%
(うちふるさと納税寄附金基金)	5億1,484万円	4億9,743万円	1,741万円	3.5%
国民健康保険特別会計	8,454万円	7,925万円	223万円	6.7%
介護保険特別会計	4億2,648万円	3億5,587万円	7,061万円	19.8%

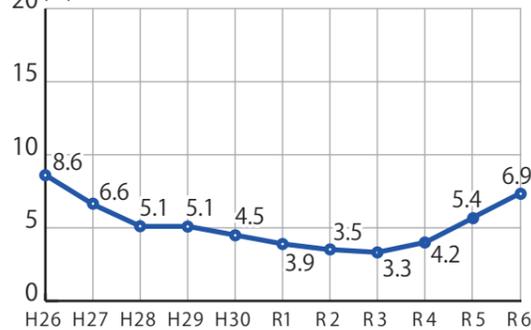
※引き上げ分の地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費については、町ホームページにて公表しています。

財政健全化判断比率

指標	内容	佐川町	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	15%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字の割合	赤字なし	20%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	6.9%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債の割合	該当なし	350%

危険信号

実質公債費比率の推移(H26~R6)



令和6年度
決算
報告

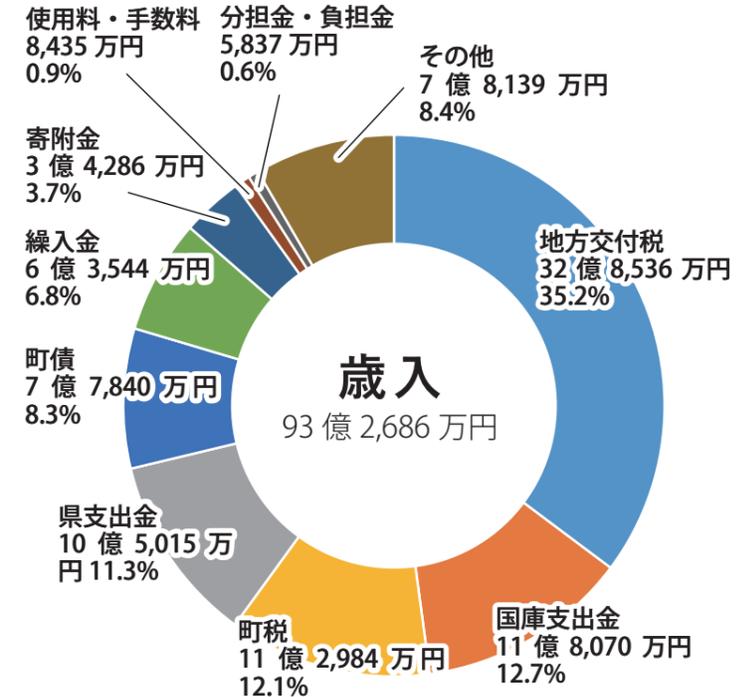
令和6年度は、新文化拠点(図書館さくと)整備事業が完了し、開館しました。町立図書館さくとでは、学び合いの場となるようなスタジオを活かした催しが開催されています。また、農業水利施設である久万田堰の改修工事や、地質館・桜座・給食センターの老朽化に伴い、施設・設備等の改修及び更新を行いました。

歳入のポイント

地方交付税は、普通交付税の増により、令和5年度より7,434万円増加し、県支出金は、農業水路等長寿命化・防災減災事業の補助金の増により、1億1,083万円増加しました。また、町債は、佐川町道の駅整備の完了により、1億8,123万円減少しました。

<歳入>用語の解説

- ・地方交付税…財政力に応じた国の交付金
- ・国庫支出金…国からの交付金・補助金
- ・町税…町民税・固定資産税
- ・県支出金…県からの交付金・補助金
- ・町債…長期借入金
- ・繰入金…特別会計繰入金・基金繰入金
- ・使用料・手数料…住宅使用料・施設使用料
- ・分担金・負担金…保育所負担金・工事負担金
- ・その他…地方譲与税・諸収入等

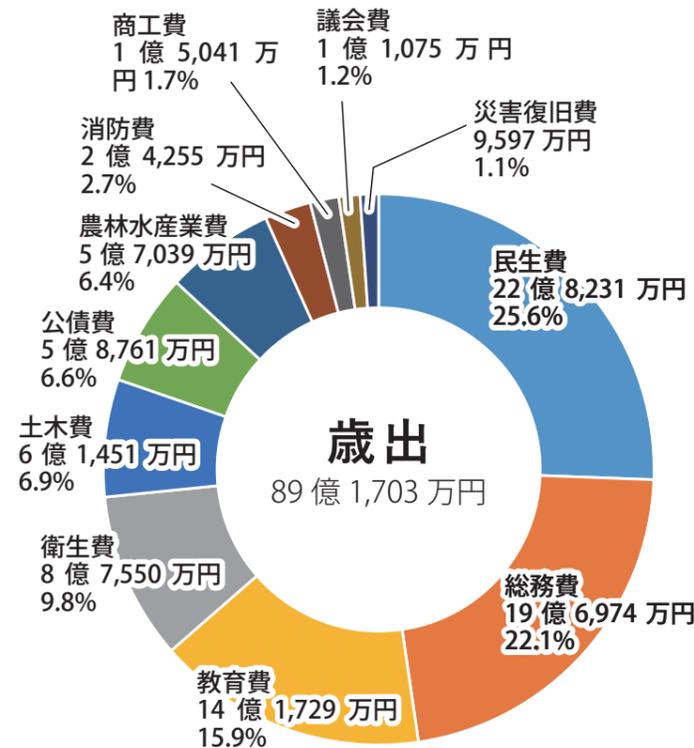


歳出のポイント

教育費は、新文化拠点(図書館さくと)整備事業や桜座施設整備事業の増により、令和5年度より2億8,742万円増加し、民生費は、広域事務組合負担金や児童手当の増により1億5,008万円増加しました。また、商工費は、道の駅整備事業や牧野富太郎博士顕彰事業の減により、3億2,818万円減少しました。

<歳出>用語の解説

- ・民生費…高齢者福祉・保育所
- ・総務費…財産管理・選挙
- ・教育費…小中学校・文化施設
- ・衛生費…予防接種・ごみ処理
- ・土木費…道路・住宅の維持改良
- ・公債費…借入金の返済
- ・農林水産業費…農林業振興・施設整備
- ・消防費…防災対策・消防活動
- ・商工費…観光・商工振興
- ・議会費…議員報酬・議会運営
- ・災害復旧費…農林・公共施設災害



令和6年度の 主な事業

老朽化対応整備事業

7,076万円

地質館・桜座・給食センターの老朽化に伴い、快適に利用いただけるよう施設・設備等の改修及び更新を行いました。



佐川町新文化拠点(図書館さくと)整備事業

5億8,193万円

令和6年12月に「佐川町立図書館さくと」が開館しました。多くの方々に図書館を利用していただけるよう、まちの「学び合い」の場として、ふるさと力、人間力、未来想像力を育み、大人も子どもも共に楽しく学ぶ場所となることを目指していきます。



あったかふれあいセンター事業

6,296万円

誰もが気軽に集い必要なサービスを受けることができる地域福祉の拠点として、町内5カ所(尾川、斗賀野、黒岩、加茂、佐川)で地域のニーズ把握や課題に取り組む活動を行っています。

地域住民への周知が進み、地域包括支援センター等との連携による個別支援により、介護予防になっています。

また、地域包括支援センター等との状況共有や連携の向上により、利用者支援の質的向上につながっています。

基盤整備事業

2億1,280万円

農業水利施設である、堰、農道、水路などの維持修繕のために計画策定及び長寿命化工事を実施します。令和6年度は、久万田堰の改修工事、水路改修工事を行うことで適切な維持管理をしています。



改修された久万田堰

道路橋梁維持費・道路施設修繕事業

・地方道路交付金事業 3億8,085万円

(うち地域振興策1億2,899万円)

町道や橋梁、トンネルといった道路施設では、老朽化に伴う影響が数多く発生しています。これらの維持・補修・修繕を計画的に行うことで町民の皆様の通行の安全を維持しています。

木造住宅耐震化支援事業

1億4,042万円

南海トラフ地震対策を推進するため、戸別訪問等による積極的なPRを行うほか、所有者が行う耐震診断や耐震補強工事等への補助を行い、着実な住宅耐震化の促進につながっています。

地域公共交通事業

5,518万円

住民の移動手段を確保するため「さかわぐるぐるバス」や廃止路線代替バスの運行補助をしています。

さかわぐるぐるバスは、コロナ禍により利用者数の落ち込みがみられていましたが、現在では利用者数が増加しており、住民の生活の一部として欠かせないものとなりました。

令和6年度のさかわぐるぐるバスの1便当たりの乗車人数は2.52人となり、令和5年度に引き続き年間利用者数が1万人を超えています。



運用が開始されたバスの運行情報案内サービス

移住促進事業

1,679万円

移住促進事業では、移住希望者に対する空き家バンク、空き家改修補助金、お試し住宅の提供等による住環境整備などを行っています。

また、相談窓口を設置し、移住につながるような仕事、移住後の生活の不安を解消する支援を行うことで、空き家バンクの問い合わせが近年増加しています。

◆ふるさと寄附(納税)についてのご報告

ふるさと寄附は、故郷や応援したい自治体に寄附できる制度です。佐川町でも、この制度により、寄附者の拡大、リピーターの確保、返礼品の充実を図り、町のPRや自主財源確保につなげています。令和6年度も多くの佐川町ファンの方に応援していただき、多くの寄附が集まりました。

全国から集まった寄附金は、よりよいまちづくりのために、以下の事業に活用しました。

令和6年度の寄附金総額
3億4,259万7,259円

令和6年度の寄附金件数
1万6,641件

令和6年度にふるさと寄附金を活用した事業

医療・福祉・子育ての充実に係る事業 6,812万円

学校給食特別会計繰出金(学校給食費無償化)、乳幼児医療費助成事業、佐川町出産準備支援給付金、高知県あったかふれあいセンター事業

産業・観光の振興に関する事業 2,148万円

道の駅指定管理料

教育・文化・スポーツの振興に関する事業 5,198万円

新文化拠点(図書館)関係委託料、工事費、運営費、佐川町体育会補助(黒岩マラソン50回記念)

“まちまるごと植物園事業”への活用

植物学者・牧野富太郎博士のふるさと佐川町では、個人のお庭や、地域の花壇、貴重な山野草の自生地など、町全体を植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりあう“植物のまち”を目指した取り組みを進めています。“植物のまち”として、さらなる取り組みを展開していくために、寄附金のうち100円を牧野富太郎博士に関する事業に活用させていただいています。

令和6年度人気のお礼品
申込件数ランキング

第1位



麦藁焼
特選鯉のたたき

第2位



ブルーベリー
(冷凍)

第3位



天然酵母
ベーグルセット

第4位



フルーツ定期便

第5位



お野菜定期便